

2012年度 決算説明会

2013年4月10日
株式会社ファミリーマート



2012年度 業績概要 : 連結・単体共に各利益段階で過去最高益を達成

連結 単位: 億円、%			
	2011年度 実績	2012年度 実績	前期比
営業総収入	3,292	3,340	101.5%
営業利益	425	431	101.2%
経常利益	448	454	101.3%
当期純利益	165	250	150.9%

単体 単位: 億円、%			
	2011年度 実績	2012年度 実績	前期比
チェーン全店売上高	15,346	15,845	103.3%
営業総収入	2,744	2,709	98.7%
販売費及び一般管理費	1,790	1,836	102.6%
営業利益	382	389	101.7%
経常利益	406	414	102.0%
当期純利益	143	241	168.9%

営業数値概況 ※店舗数は、TOMONYを含む。			
	2011年度 実績	2012年度 実績	前期差
全店平均日商(千円)	531	523	△ 8
既存店日商伸び率(%)	104.4	98.4	—
全店客数(人)	961	950	△ 11
全店客単価(円)	552	551	△ 1
差益率(%)	27.59	27.89	0.30
新設店日商(千円)	521	429	△ 92
純増数(店) ※TOMONYを含む	535	608	73
出店数(店)	851	900	49
閉鎖数(店)	316	292	△ 24

[TOMONY:2012年度 計57店(期中出店12店)]

店舗数		※TOMONYを含む。										
(株)ファミリーマート	2011年度 実績				2012年度 実績				前期差			
	8,164				8,772				608			
【国内】	プロパー				沖縄				国内計	前期差		
	8,772				220							
	南九州		北海道		JR九州リテール				9,481	647		
	304		58		127							
【海外】	台湾	韓国	タイ	中国・上海	中国・広州	中国・蘇州	海外計	前期差	国内外 合計	前期差		
	2,851	8,001	806	741	146	70						
	中国・杭州	中国・成都	アメリカ	ベトナム	インドネシア		12,700	1,455	22,181	2,102		
	17	15	9	39	5							

■出店数 : 900店 ※TOMONY含む〔過去最高〕、新設店日商 : 429千円

- ・将来を見込んだ先行布石、積極的な出店とB&Sを推進
- ・鉄道事業者との取組みを強化
- ・ドラッグストアー体型店舗の出店

■既存店日商伸び率 : 98.4%、全店客数 : 950人

- ・惣菜、サラダ、日配品、青果の品揃えを強化
- ・「FamilyMart collection」の導入、「ファミマ プレミアムチキン」のヒット
- ・「あじわいFamima Café」カウンターコーヒーを約2,300店で展開

■差益率 : 27.89%(前期差+0.30%)

■「社会・生活インフラ企業」としての価値提供

■海外店舗数 : 12,700店(前期差+1,455店)

- ・タ イ : 事業展開を加速
- ・中 国 : 新地域成都への出店
- ・インドネシア : 5店舗を開店
- ・フィリピン : 2013年4月7日に1号店開店

2013年度 基本方針

2015年度「グローバル25,000店」の達成

クオリティ：国内No.1

規模：日本発祥のコンビニエンスストアとしてグローバルNo.1

2013年度
『次の10年を決める勝負の年』

2013年度 経営数値計画

連結			
単位：億円、%			
	2012年度 実績	2013年度 計画	前期比
営業総収入	3,340	3,541	106.0%
営業利益	431	451	104.6%
経常利益	454	478	105.3%
当期純利益	250	225	89.9%
総資産	5,265	5,700	108.3%
純資産	2,481	2,600	104.8%

単体			
単位：億円、%			
	2012年度 実績	2013年度 計画	前期比
チェーン全店売上高	15,845	17,233	108.8%
営業総収入	2,709	2,907	107.3%
営業利益	389	402	103.2%
経常利益	414	421	101.5%
当期純利益	241	206	85.2%

営業数値計画			
※店舗数は、TOMONY を含む。			
	2012年度 実績	2013年度 計画	前期差
全店平均日商(千円)	523	527	4
既存店日商伸び率(%)	98.4	101.0	—
差益率(%)	27.89	28.30	0.41
新設店日商(千円)	429	450	21
純増数(店)	608	1,150	542
出店数(店)	900	1,500	600
閉鎖数(店)	292	350	58

- ◆営業利益、経常利益段階で過去最高益を計画
- ◆配当：年間配当金1株あたり102円(+2円)
⇒9期連続の増配を予定

連結貸借対照表／単体キャッシュフロー

■連結貸借対照表

- ・財務の健全性を維持しつつ、将来の収益を創出する資産の積み増し

■単体キャッシュフロー

- ・将来の収益を創出するため、店舗投資等の投資活動へキャッシュを積極的に投下

2013年度 基本方針

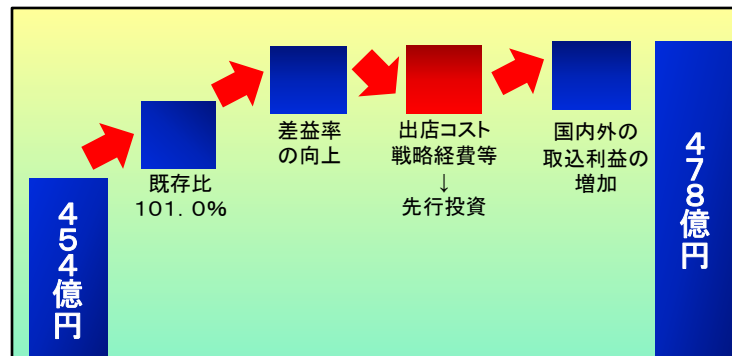
連結経常利益

〔通期計画〕

- 既存店日商伸び率：101.0%
- 差益率：28.30%（前期差+0.41%）
- 出店コスト・戦略経費等の先行投資
- 国内外の取込利益の増加

連結経常利益計画：
478億円

（2012年度454億円から
24億円増益）



既存店日商の向上

■S&QCの徹底

- ・高質接客＝『ホスピタリティ』『親しみのあるコミュニケーション』
- ・売場における基本事項の徹底と品揃えの再確認

■商品開発

- ・カウンター商材の強化
 - －「ファミマ プレミアムチキン」の拡販
 - －カウンターコーヒーの本格展開
 - －新しい柱となる商品の導入
- ・「FamilyMart collection」の拡大
 - －品揃えを500アイテム以上に
- ・ Gondola 棚板を追加
- ・補充推奨発注システムの導入
 - －売場全体のクオリティの向上



〈ファミマ プレミアムチキン〉〈カウンターコーヒー〉



〈補充推奨発注システムを導入〉

FamilyMart collection



4/9発売

4/16発売



〈おとなのお味噌汁 たまごとアスパラ〉



〈厳選珈琲 微糖〉〈じっくり揚げたポテトチップス レモンソルト味〉



2013年度 基本方針

差益率の向上

■収益構造改革の継続

- ・サプライチェーン：店舗数増加によるスケールメリットを活かした、あらゆるカテゴリーの値入を改善
- ・中食インフラ：中食製造効率の向上に向けた投融資等の支援
- ・物流拠点：物流拠点を再構築し、配送コストを削減

店舗開発

プロパー出店数：1,500店
新設店日商：450千円

■組織体制の刷新

- ・開発本部制導入による戦闘態勢の強化

■優良立地の確保

- ・既存マーケットの掘り起こし、B&Sの推進

■駅ナカ店舗の拡大

- ・近畿日本鉄道株式会社等との提携

■他業態との一体型店舗の本格化

- ・ドラッグストア等、他業態との連携強化

店舗数

(株)ファミリーマート	2012年度 実績	2013年度 計画	前期差
期末店舗数	8,772	9,922	1,150
【国内総店舗数】	9,481	10,707	1,226

海外事業・国内事業での利益取込

2013年度末 国内店舗数：10,707店
2013年度末 海外店舗数：13,671店

■海外事業

- ・中国：個店収益力の改善
- ・台湾：足元の基調は順調
- ・韓国：増益転換
- ・新地域を含む全ての進出地域での出店を加速
- ・「海外事業パッケージ」の進化

■新規事業

- ・(株)シニアライフクリエイトとの取組みを本格化

店舗数

	2012年度 実績	2013年度 計画	前期差
日本国内	9,481	10,707	1,226
台湾	2,851	2,900	49
韓国	8,001	8,607	606
タイ	806	977	171
中国・上海	741	750	9
中国・広州	146	138	△ 8
中国・蘇州	70	75	5
中国・杭州	17	26	9
中国・成都	15	32	17
アメリカ	9	10	1
ベトナム	39	89	50
インドネシア	5	37	32
フィリピン	-	30	30
海外計	12,700	13,671	971
合計	22,181	24,378	2,197